

**(3) ②様式第3号-2 (報告書)**

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 弘前大学教職大学院主催 青森県教育委員会共催
コラボ研修プログラム	事業名： NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業
支援事業報告書	研修等名：【NITS・弘前大学教職大学院コラボ研修】 令和5年度指導主事研修会
	開催日時：令和5年7月8日 9時50分～15時30分 開催場所：弘前大学教育学部中教室（青森県弘前市文京町1番地） 八戸ユートリー第4研修室（青森県八戸市一番町1丁目9-22） 参加人数（総数）と参加者の属性：教育委員会指導主事 37人

**内容：(趣旨) 弘前大学教職大学院が、青森県教育委員会との共催で開催する学校現場を支える指導主事の力量向上のための研修会**

- 主催者挨拶 弘前大学大学院教育学研究科長 福島 裕敏
- 講義・ワークショップ：「学校現場にどう助言し関わるか」  
弘前大学教職大学院 教授 中野 博之
- グループ協議：（講義内容に関連して）  
（昼休憩）
- 講義：「教師と教職のエンパワメントに向けて：  
教師の学びと質保証をめぐる国内外の動向」  
独立行政法人教職員支援機構教授 百合田 真樹人 氏
- 講義：「ともに考えましょう 今、学校は何を求めているのか」  
青森県立北斗高等学校 校長 坂上 佳苗 氏
- グループ協議・全体協議

※青森県内各所の指導主事が、胸襟を開き、担当業務に関係なく自由闊達に協議し、明日へのエネルギー充填の場づくりを目指す。

【中野教授・講義・ワークショップ】  
指導主事になりたての時期を想定し、現場にどう助言したらいいのか、授業の見取りと具体的な助言のあり方についての講義と演習

【百合田教授・講義】  
研究者の識見と多角的な視点・広い視野から現場に必要な知見獲得を目指した講義

【坂上校長・講義】  
先輩指導主事の経験と考察に裏打ちされた豊富な話題をもとに、現役指導主事をエンカレッジするパワフルな講義

**成果：①参加者アンケートの自由記述から**

・授業改善の視点で指導主事としてどう関わるか、支えられるかについてたいへん貴重な視座を得ることができました。どうしても教師の指導に目が行きがちでしたが、大事にするべきは子供の学びを価値づけることであり、そこから授業改善への糸口を見つけることだと分かりました。

・百合田先生の話はデータに基づいていて説得力がありました。実は間違った思い込みが沢山あることに盲目になっている学校や職場に、教えた！！と思いました。

・坂上校長先生の講義の内容から、声のハリから、愛あるメッセージからたくさんのパワーをいただきました。小さな改善の積み重ねを大切に、精一杯頑張っている学校のために、指導主事の立場でしかできないことを精一杯やらねばと、気持ちが引き締まりました。

**②事前・事後アンケートの意識の変容**

・「現時点での指導主事の仕事への意識について」の質問について対応のある t 検定を行った結果、5 項目において、事前よりも事後の方が統計的に有意に高い得点が得られ、ポジティブな変化が見られた。

○「私は自分の仕事にどのように取り組んでいけばいいかイメージを持っている」（平均値：3.84→4.91）

○「仕事の見通しや計画を立てるのが楽しい」（平均値：3.84→4.31）

○「指導主事というキャリアに満足している」（平均値：3.94→4.41）

○「日々の仕事に充実感を覚えている」（平均値：4.16→4.72）

○「現在の仕事に対する意欲を、0～10の数字で表してください。（平均値：7.69→8.13）

【令和5年度指導主事研修会「仕事への意識」の変化に関する t 検定の結果】

	事前		事後		自由度	t 値	p 値 (Prob> t )
	平均	SD	平均	SD			
私は自分の仕事にどのように取り組んでいけばいいかイメージを持っている	3.84375	1.1670026	4.90625	0.7770654	31	5.299494	<.0001*
私の日常の仕事の大半は、それほど重要なものではない	2.03125	1.1773227	2.46875	1.6652884	31	1.339175	0.1903
仕事の見通しや計画を立てるのが楽しい	3.84375	1.3466655	4.3125	1.2296734	31	2.278946	0.0297*
今後の自分のキャリアに漠然とした不安を感じる	3.25	1.5450232	3.28125	1.5499089	31	0.137865	0.8912
指導主事というキャリアに満足している	3.9375	1.2164862	4.40625	1.3645128	31	2.226512	0.0334*
仕事に追われて押しつぶされそうな気持になる	3.25	1.5657627	3.5625	1.522678	31	1.305104	0.2015
日々の仕事に充実感を覚えている	4.15625	1.1103436	4.71875	1.1425601	31	3.973972	0.0004*
早く学校現場に戻りたいと思っている	4.03125	1.3792091	4.21875	1.385044	31	0.812142	0.4229
現在の仕事に対する意欲を、0～10の数字で表してください	7.6875	1.5951034	8.125	1.4756081	31	2.708905	0.0109*

**アイデアや工夫したこと：**3～5つ程度の箇条書きしてください。

- ① 県内 2 会場をオンラインで結び、また広い県内のどこからでも参加しやすいようハイブリッド型の環境をつくる。
- ② 指導主事のニーズを考慮し、明日すぐに助言に役立つ内容、世界的視野から根拠となるデータを示しての教育動向、教師も指導主事をもエンパワメントする内容と、バランスを考慮しての講義内容とした。
- ③ (1) 経験年数が比較的近いグループ、(2) 経験年数が異なるグループと 2 度のグループ協議を設定し、「経験年数の浅い指導主事の悩みの共有」→「アドバイスをもらうなど課題の協議・解決」可能な構成とした。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

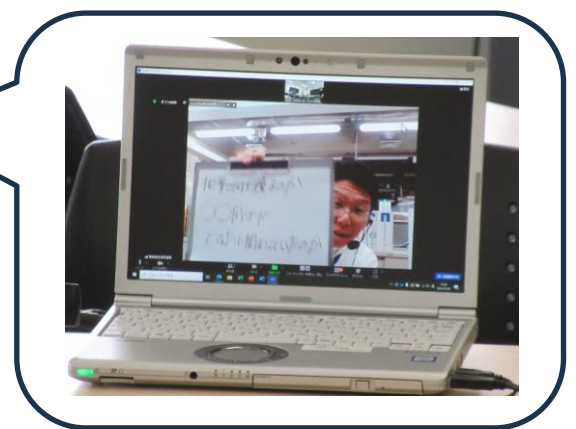
【教育学研究科長の挨拶】

【八戸会場での中野教授の講義を弘前会場にて受講】➡



【職場からオンライン参加のグループ協議】

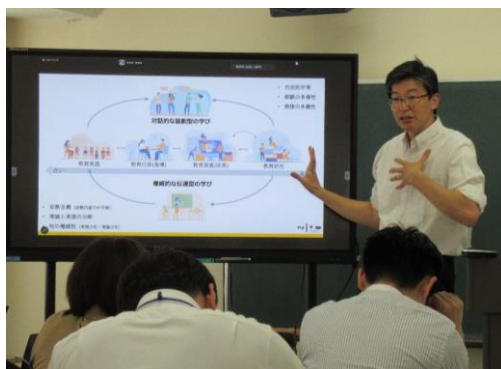
【ホワイトボードを活用しての説明】



【百合田教授の説得力のある講義】

【和気藹々と協議する参加者】

【坂上校長の熱い講義】



※ バランスを考慮した構成と遠隔地の参加者への配慮もあり、満足度の高い充実した研修会を実施することができました。